

2 平成22年度疾患別がん診療機能、診療実績、認定資格、治療指針、治療成績等について

がん診療業務概要 平成22年度疾患別がん診療機能、診療実績、認定資格、治療指針、治療成績等について

疾患名	治療内容	診療実績(件数)	医師の専門分野・認定資格	使用しているガイドライン等	生存率その他特記事項
肺がん 縦隔腫瘍	手術	46例(胸腔鏡下手術36例)	江村 正仁 呼吸器内科部長(呼吸器疾患の診断・治療、間質性肺炎の診断・治療) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本呼吸器学会指導医</li> <li>日本呼吸器内視鏡学会指導医</li> <li>日本内科学会認定医</li> </ul>	EBMの手法による肺癌診療ガイドライン2003年版及び2005年版(日本肺癌学会) 放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会) 肺癌取り扱い規約(改定第7版)2009年	非小細胞肺癌(2005~2010年度非手術症例) 1生率 30% 2生率 13% 小細胞肺癌(2005~2010年度非手術症例) 1生率 42% 2生率 8% 肺癌手術後5年累積生存率 IA 74.3% IB 56.0% II 54.7% III 22.7%
	化学療法	112例	大迫 努 診療科統括部長(呼吸器外科、肺癌、縦隔腫瘍、胸腔鏡手術) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本胸外科学会指導医</li> <li>日本呼吸器外科学会専門医</li> <li>日本外科学会指導医</li> <li>日本呼吸器内視鏡学会指導医</li> <li>日本呼吸器学会専門医</li> <li>日本がん治療認定医機構暫定教育医</li> </ul>		
	放射線療法	66例	宮原 亮 呼吸器外科部長(呼吸器外科、肺癌、縦隔腫瘍、胸腔鏡手術) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本胸外科学会認定医</li> <li>日本呼吸器外科学会専門医</li> <li>日本外科学会専門医</li> <li>日本臨床腫瘍学会暫定指導医</li> </ul>		
	セカンドオピニオンへの対応	3例			
胃がん・胃腫瘍	手術	39例(腹腔鏡下手術9例)	新谷 弘幸 副院長(消化器病、肝臓病) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本消化器病学会専門医(指導医)</li> <li>日本肝臓学会専門医(指導医)</li> <li>日本内科学会認定医</li> </ul>	胃癌治療ガイドライン2010年版(日本胃癌学会) 消化器内視鏡ガイドライン2006年版(日本消化器内視鏡学会) GIST診療ガイドライン2010年(日本癌治療学会/GIST研究会)	手術症例 5年累積生存率 IA 97.8% IB 95.6% II 76.9% III A 54.1% III B 18.5% IV 5.1% 全体 70.3% (2010年3月末現在)
	内視鏡的切除術(EMR-ESD)	45例	吉波 尚美 総合内科部長(消化器病、肝臓病、内視鏡) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本内科学会専門医</li> <li>日本消化器病学会専門医(指導医)</li> <li>日本消化器内視鏡学会専門医(指導医)</li> <li>肝臓学会専門医(指導医)</li> <li>日本内科学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医</li> </ul>		
	化学療法	52例			
	セカンドオピニオンへの対応	2例			
大腸がん・大腸腫瘍	手術	90例(腹腔鏡下手術47例)	相島 寿彦 消化器内科副部長(消化器病、肝臓病、がん薬物療法) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本消化器病学会専門医</li> <li>日本肝臓学会専門医</li> <li>日本内科学会認定医</li> <li>日本がん治療認定医機構認定医</li> <li>日本消化器内視鏡学会専門医</li> <li>日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医</li> </ul>	大腸癌治療ガイドライン2010年版(大腸癌研究会) GIST診療ガイドライン2010年(日本癌治療学会/GIST研究会) 放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会)	手術症例 5年累積生存率 IA 100.0% IB 96.4% II 87.4% III A 77.6% III B 62.7% IV 16.3% 全体 70.8% (2010年3月末現在)
	内視鏡的切除術(EMR-ESD)	171例	山下 靖英 内視鏡室副部長(消化器病、内視鏡) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本消化器病学会専門医</li> <li>日本消化器内視鏡学会専門医(指導医)</li> <li>日本内科学会認定医</li> <li>日本がん治療認定医機構認定医</li> </ul>		
	化学療法	72例			
	放射線治療	12例			
	セカンドオピニオンへの対応	1例			
肝がん・肝腫瘍	手術	11例	元好 貴之 消化器内科医長(消化器病) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本内科学会認定医</li> <li>日本消化器病学会専門医</li> <li>日本がん治療認定医機構認定医</li> <li>日本消化器内視鏡学会専門医</li> </ul>	肝がん診療ガイドライン2009年版(科学的根拠に基づく肝癌診療ガイドライン作成に関する研究班)	全切除症例 5年累積生存率 60.2% (2010年3月末現在)
	化学療法	20例	高井 孝治 消化器内科医員(消化器病) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本内科学会認定医</li> <li>日本がん治療認定医機構認定医</li> </ul>		
	穿刺療法(PEI/RFA)	51(31/20)例	西方 誠 総合内科・消化器内科医長(消化器病) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本内科学会認定医</li> </ul>		
	肝動脈塞栓術(TAE)	107例			
食道がん	手術	3例	松田 昌悟 消化器内科医員(消化器病) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本内科学会認定医</li> </ul>	食道癌治療ガイドライン2007年版(日本食道癌研究会) 放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会)	手術症例 5年累積生存率 0 100.0% I 67.9% II 63.3% III 43.2% IV 0.0% 全体 55.3% (2010年3月末現在)
	内視鏡的切除術(EMR-ESD)	9例	森本 泰介 副院長(一般外科、消化器外科、肝臓外科) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本外科学会専門医(指導医)</li> <li>日本消化器外科学会専門医(指導医)</li> <li>日本がん治療認定医機構暫定教育医</li> <li>日本肝胆膵外科学会高度技能指導医</li> </ul>		
	化学療法	5例	山本 栄司 消化器外科部長(一般外科、消化器外科) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本外科学会専門医(指導医)</li> <li>日本消化器外科学会専門医(指導医)</li> <li>日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医</li> </ul>		
	放射線化学療法	17例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
胆嚢がん・胆管がん	手術	4例	松尾 宏一 消化器外科副部長(一般外科、消化器外科) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本外科学会専門医</li> </ul>	胆道癌診療ガイドライン(第1版)(日本肝胆膵外科学会、日本癌治療学会)	全切除症例 5年累積生存率 48.9% (2010年3月末現在)
	化学療法	14例	里 輝幸 外科医長(一般外科、消化器外科、外傷) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本外科学会専門医</li> <li>JATECインストラクター</li> </ul>		
	セカンドオピニオンへの対応	2例			
膵がん・膵腫瘍	手術	5例	上 和広 外科医長(一般外科、消化器外科)	膵癌診療ガイドライン2009年版(日本膵臓学会) IPMN/MCN国際診療ガイドライン(国際膵臓学会ワーキンググループ)	全切除症例 5年累積生存率 35.8% (2010年3月末現在)
	化学療法	33例	玉置 信行 外科医長(一般外科、消化器外科) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本外科学会専門医</li> </ul>		
	放射線化学療法	9例	片山 外大 外科医員(一般外科、消化器外科)		
	セカンドオピニオンへの対応	0例	玉木 一路 外科医員(一般外科、消化器外科) 奥野 将之 外科医員(一般外科、消化器外科)		

疾患名	治療内容	診療実績(件数)	医師の専門分野・認定資格	使用しているガイドライン等	生存率その他特記事項
乳がん・乳腺腫瘍	手術	75例	森口 喜生 乳腺外科部長(一般外科、消化器外科、乳腺外科) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本外科学会専門医(指導医)</li> <li>日本乳癌学会専門医</li> <li>日本がん治療認定医機構暫定教育医</li> </ul> 西江 万梨子 乳腺外科医員(一般外科、消化器外科、乳腺外科)	乳癌診療ガイドライン2010年版(日本乳癌学会) 乳房温存療法ガイドライン2005年版(標準的な乳房温存療法の実施要項の研究班) 放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会)	手術症例 10年累積生存率 I 94.5% IIA 89.2% IIB 83.5% IIIA 76.2% IIIB 63.8% IV 32.1% 全体 83.9% (2010年3月末現在)
	化学療法	346例			
	放射線療法	125例			
	セカンドオピニオンへの対応	1例			
前立腺がん	手術	9例	上田 朋宏 泌尿器科部長(泌尿器科癌治療) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> <li>日本がん治療認定医機構暫定教育医</li> </ul> 吉田 徹 泌尿器科副部長(泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul> 田上 英毅 (泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul> 伊藤 将彰 (泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul>	前立腺癌診療ガイドライン2006年版(日本泌尿器科学会編) 放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会)	
	化学療法(ホルモン療法)	142例			
	放射線療法(組織内照射)	13例			
	放射線療法(外照射)	45例			
	セカンドオピニオンへの対応	2例			
膀胱がん	手術(膀胱全摘)	1例	上田 朋宏 泌尿器科部長(泌尿器科癌治療) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> <li>日本がん治療認定医機構暫定教育医</li> </ul> 吉田 徹 泌尿器科副部長(泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul> 田上 英毅 (泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul> 伊藤 将彰 (泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul>		
	経尿道的膀胱腫瘍切除(TUR)	75例			
	化学療法	28例			
	セカンドオピニオンへの対応	1例			
尿路がん	手術	7例	上田 朋宏 泌尿器科部長(泌尿器科癌治療) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> <li>日本がん治療認定医機構暫定教育医</li> </ul> 吉田 徹 泌尿器科副部長(泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul> 田上 英毅 (泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul> 伊藤 将彰 (泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul>		
	化学療法	11例			
	放射線療法	14例			
	セカンドオピニオンへの対応	2例			
精巣がん	手術	3例	上田 朋宏 泌尿器科部長(泌尿器科癌治療) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> <li>日本がん治療認定医機構暫定教育医</li> </ul> 吉田 徹 泌尿器科副部長(泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul> 田上 英毅 (泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul> 伊藤 将彰 (泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul>	放射線治療計画ガイドライン2004年度版(日本放射線腫瘍学会)	
	化学療法	0例			
	放射線療法	5例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
腎がん	手術	8例(腹腔鏡下手術3例)	上田 朋宏 泌尿器科部長(泌尿器科癌治療) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> <li>日本がん治療認定医機構暫定教育医</li> </ul> 吉田 徹 泌尿器科副部長(泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul> 田上 英毅 (泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul> 伊藤 将彰 (泌尿器科手術一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本泌尿器科学会専門医(指導医)</li> </ul>		
	化学療法	6例			
	セカンドオピニオンへの対応	2例			
子宮がん	手術	56例	藤原 葉一郎 産婦人科部長(婦人科一般、周産期管理、産婦人科感染症、性感染症) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本産科婦人科学会専門医</li> <li>日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医</li> <li>日本性感染症学会専門医</li> </ul> 大井 仁美 産婦人科医員(周産期管理) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本産科婦人科学会専門医</li> </ul> 小藪 祐喜 産婦人科医員(婦人科一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本産科婦人科学会会員</li> </ul>	子宮頸癌治療ガイドライン2007年版(日本婦人科腫瘍学会編) 子宮体癌治療ガイドライン2009年版(日本婦人科腫瘍学会編) 放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会)	
	化学療法	42例			
	放射線療法	46例			
	セカンドオピニオンへの対応	1例			
卵巣がん	手術	11例	藤原 葉一郎 産婦人科部長(婦人科一般、周産期管理、産婦人科感染症、性感染症) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本産科婦人科学会専門医</li> <li>日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医</li> <li>日本性感染症学会専門医</li> </ul> 大井 仁美 産婦人科医員(周産期管理) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本産科婦人科学会専門医</li> </ul> 小藪 祐喜 産婦人科医員(婦人科一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本産科婦人科学会会員</li> </ul>	卵巣がん治療ガイドライン2010年版(日本婦人科腫瘍学会編) 放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会)	
	化学療法	40例			
	放射線療法	4例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
頭頸部がん	手術	28例	上田 大 耳鼻咽喉科副部長(耳鼻咽喉科一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本耳鼻咽喉科学会専門医</li> </ul> 信原 健二 耳鼻咽喉科医長(耳鼻咽喉科一般) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本耳鼻咽喉科学会専門医</li> </ul>	頭頸部がん取り扱い規約 放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会) がん疼痛ガイドライン(日本緩和医療学会)	
	化学療法	38例			
	放射線療法	26例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			

疾患名	治療内容	診療実績(件数)	医師の専門分野・認定資格	使用しているガイドライン等	生存率その他特記事項
甲状腺がん	手術	19例	上田 大 耳鼻咽喉科副部長(耳鼻咽喉科一般) ・日本耳鼻咽喉科学会専門医	甲状腺癌取り扱い規約第6版(甲状腺外科学会) 放射線治療計画ガイドライン2004年度版(日本放射線腫瘍学会)	
	化学療法	0例	信原 健二 耳鼻咽喉科医長(耳鼻咽喉科一般) ・日本耳鼻咽喉科学会専門医		
	放射線療法	3例	小松 弥郷 内分泌内科学部長(内分泌代謝学全般) ・日本内分泌学会専門医(指導医)		
	セカンドオピニオンへの対応	0例	旗谷 雄二 内分泌内科副部長(内分泌代謝学全般) ・日本内分泌学会専門医 ・日本甲状腺学会専門医		
血液腫瘍(白血病、リンパ腫など)	化学療法	血液内科600例	伊藤 満 血液内科学部長(臨床血液学、造血器悪性疾患の治療、造血幹細胞移植) ・日本血液学会専門医(指導医) ・日本臨床腫瘍学会暫定指導医 ・日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医 宮原 裕子 血液内科副部長(臨床血液学、造血器悪性疾患の治療、造血幹細胞移植) ・日本血液学会専門医 ・日本臨床腫瘍学会暫定指導医 ・日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医 鷹尾 珠美子 血液内科医長(臨床血液学、造血器悪性疾患の治療、造血幹細胞移植) ・日本血液学会専門医	急性白血病:JALSG. AML201. APL204. ALL202 慢性骨髄性白血病: JALSG. CML202に準拠 骨髄異形成症候群: JALSG. MDS200 非ホジキン悪性リンパ腫:R-CHOPをはじめとする標準的治療を施	血液内科 非血縁者間骨髄移植や臍帯血移植にも対応している。 ミニ移植やHLA一部不適合ドナーからの移植も行っている。 自家末梢血幹細胞移植5年生存率(全例)65.0% 急性骨髄性白血病3年生存率 43.0%
	移植	(同種移植)2例 (自家移植)4例			
	放射線治療	9例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
	無菌室設置の有無(病床数)	2床			
小児血液腫瘍/小児腫瘍	化学療法	50例	黒田 啓史 小児科部長(血液・悪性腫瘍) ・日本小児科学会専門医 ・日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医 ・日本血液学会専門医 ・日本小児血液・がん学会暫定指導医 清水 恒広 感染症科部長(感染症一般・小児血液・腫瘍性疾患の診断と治療) ・日本小児科学会専門医 大曾根 真也 小児科医長(血液・悪性腫瘍) ・日本小児科学会専門医 ・日本がん治療認定医機構認定医 ・日本血液学会専門医 ・日本小児血液・がん学会暫定指導医	小児白血病研究会(JACLS):ALL-02 日本小児白血病リンパ腫研究グループ(JPLSG):AML-05、AML-D05、AML-P05、LLB-NHL-03、B-NHL-03、ALL-R08、HLH2004 日本ランゲルハンス細胞組織球症研究グループ(JLSG):LCH-02 日本神経芽腫研究グループ(JNBSG)治療指針	造血細胞移植に力を入れている。
	移植	(同種移植)1例			
	手術	0例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
	無菌室設置の有無(病床数)	2床			
脳腫瘍	手術	18例	村井 望 脳神経外科部長(脳神経外科一般) ・日本脳神経外科学会専門医 河原崎 知 脳神経外科医長(脳神経外科一般) ・日本脳神経外科学会専門医	放射線治療計画ガイドライン2004年度版(日本放射線腫瘍学会)	
	化学療法	4例			
	放射線療法	39例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
性腺外胚腫瘍	化学療法	0例	村井 望 脳神経外科部長(脳神経外科一般) ・日本脳神経外科学会専門医 上田 朋宏 泌尿器科部長(泌尿器科癌治療) ・日本泌尿器科学会専門医(指導医)	放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会)	
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
骨軟部腫瘍	手術	0例	吉田 徹 泌尿器科副部長(泌尿器科手術一般) ・日本泌尿器科学会専門医(指導医) 田上 英毅 (泌尿器科手術一般) ・日本泌尿器科学会専門医 伊藤 将彰 (泌尿器科手術一般) ・日本泌尿器科学会専門医	放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会)	
	化学療法	0例			
	放射線療法	54例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
皮膚腫瘍	手術	19例	小西 啓介 皮膚科部長(皮膚科全般) ・日本皮膚科学会認定皮膚科専門医(指導医)	皮膚悪性腫瘍ガイドライン(日本皮膚科学会) 放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会)	集学的治療を要する場合は、京都府立医科大学附属病院へ紹介(4例)
	化学療法	0例			
	放射線療法	0例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
原発不明がん	化学療法	2例	すべてのCancer Board Meeting が合同で症例検討し、担当診療科を決定	原発不明がん診療ガイドライン2010年版	
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
眼腫瘍	手術	0例	小泉 関 眼科部長(網膜硝子体疾患) ・日本眼科学会専門医 鈴木 智 眼科副部長(角膜疾患) ・日本眼科学会専門医 吉田 祐介 眼科医長(眼科一般) ・日本眼科学会専門医		
	眼動注	0例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			

## 2 平成22年度疾患別がん診療機能、診療実績、認定資格、治療指針、治療成績等について

疾患名	治療内容	診療実績(件数)	医師の専門分野・認定資格	使用しているガイドライン等	生存率その他特記事項
脊椎腫瘍	手術	6例	永原 亮一 整形外科副部長(脊椎外科) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医</li> <li>日本整形外科学会脊椎脊髄病医</li> </ul>	放射線治療計画ガイドライン2008年度版(日本放射線腫瘍学会)	主に癌の脊椎転移による脊髄麻痺に対する手術を行っている。単発性転移で根治を望める場合は脊椎全摘も行う。
	化学療法	0例			
	放射線治療	2例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
その他のがん	手術	2例			
	化学療法	3例			
	セカンドオピニオンへの対応	0例			
放射線診断・治療	放射線治療・IVR実績は各疾患欄に集約して記載済み	2例	早川 克己 放射線科部長(放射線診断) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本医学放射線学会専門医</li> <li>IVR学会専門医</li> </ul> 谷掛 雅人 放射線科副部長(放射線診断) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本医学放射線学会専門医</li> </ul> 立入 誠司 放射線科副部長(放射線治療) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本医学放射線学会専門医(治療)</li> <li>日本医学放射線学会医学物理士</li> <li>日本放射線腫瘍学会認定医</li> <li>放射線治療品質管理機構放射線治療品質管理士</li> <li>日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医</li> <li>日本乳癌学会乳腺専門医</li> </ul>	放射線診療計画ガイドライン2008年版(日本放射線学会)	
	セカンドオピニオンへの対応				
病理診断			浦田 洋二 病理診断科部長(病理学) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本病理学会病理専門医</li> </ul> 榎野 陽子 病理診断科医長(病理学) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本病理学会病理専門医</li> </ul>		